

戦略的プロジェクト研究推進事業

「国内主要養殖魚の重要疾病のリスク管理技術の開発（現場ニーズ対応型研究）」

研究概要図

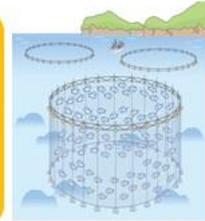
中課題番号	19190702
中課題名	国内主要養殖魚の重要疾病のリスク管理技術の開発
研究実施期間	令和元年度～令和5年度（5年間）
代表機関	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 （増養殖研究所魚病研究センター）
研究開発責任者	中易 千早
研究開発責任者 連絡先	TEL : 0599-66-1830
共同研究機関	国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門 学校法人日本医科大学（日本獣医生命科学大学）獣医学部
普及・実用化 支援組織	愛媛県農林水産研究所 静岡県水産技術研究所 長野県水産試験場 栃木県水産試験場
農林水産省内 本事業担当	消費・安全局食品安全政策課 代表：03-3502-8111（内線4451）

< 研究概要図 >

公募研究課題名	国内主要養殖魚の重要疾病のリスク管理技術の開発
---------	-------------------------

現状と課題

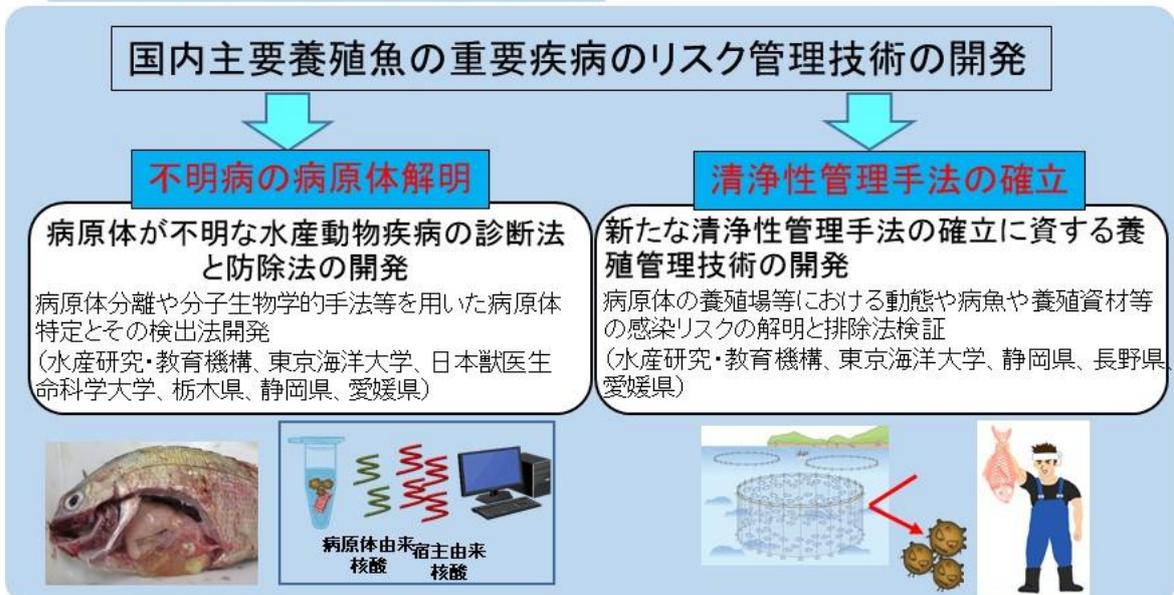
- ・近年、主要な養殖種で原因が不明な疾病の発生がみられ、診断法がなく伝播経路等も不明なことから、予防対策の立案・実施が難しい状況
- ・国内に常在している疾病の中には国際的に輸出の障壁になる場合がある



研究開発の目的、達成目標

マダイに大量死を引き起こす不明病等について、病原体を同定し検査法を開発する。これらの病態特性に基づく防除法を開発し、養殖現場において効果検証を行う。
新たな清浄性管理手法の確立に資する養殖管理技術を開発することにより、養殖施設等での疾病発生を防止する。

研究開発の内容及び実施体制



波及効果、国民生活等への貢献

不明病の検査法が確立され、病原体の動態を把握できる。新たな清浄性管理手法の確立に資する養殖管理技術を開発することにより、養殖施設等での疾病発生が防止される。これらの成果により広域的なまん延も防止でき、生産性の向上が図られる。